

『2025 年度学生生活実態調査報告書』刊行にあたって

本書は、学生センターが実施している「学生生活実態調査」の 2025 年度報告書です。本調査は 2025 年 6 月 21 日から同 7 月 31 日にかけて実施・回答されたものであり、1 年生は入学後・春学期の新生活の経験に基づいて、2～4 年生は前年度までの経験も踏まえつつ、それぞれ回答してくれたものと思われます。

回答結果の分析については、市ヶ谷副学生センター長の高橋美穂子先生（経営学部）にお願いを致しました。この場を借りて心より御礼を申し上げます。詳しくは分析内容を記載した「調査結果に関する報告」をお読みいただければと存じますが、ここでは全学センター長としていくつか気になった点について言及しておきたいと思います。

まず、調査の回答数・回答率についてです。2024 年度は 1,964 人・6.9%であったのに対し、今年度は 1,918 人・6.5%と微減となってしまいました。しかもこの数字は、回答期限最終日にリマインドメールを送った結果、前日から 1,023 件増える（！）という形でようやく得られたものです。最終日に回答して下さった学生諸君にはただただ御礼を申し上げるばかりですが、ここまできると周知方法の改善以前の問題として、そもそも学生生活実態調査に回答することのメリットを学生諸君に正しく伝えられていない我々学生センター側に問題があるのではないかと改めて痛感した次第です。本調査で得られた結果がきっかけとなって改善に結びついた学内環境等は実は少なくないのですが、そのことのアピールが十分ではないからこそ、回答率の低下につながっているのではないのでしょうか。この点の改善を図るとともに、アンケート内容を精査して簡略化し、より手軽に回答してもらえるものに変えていくことも、引き続き進めてまいりたいと存じます。

ここ数年、「モラル・マナーの低下・欠如」を感じたのはどんな時かという問いに対し、「授業中の私語」の回答割合が増えており（2022 年度 59.4%→2023 年度 69.0%→2024 年度 74.6%）、昨年度、学部長会議でもこの点は報告をしていたのですが、残念ながら 75.8%と今年も微増してしまいました（Q17-1）。コロナ前の水準に戻ったといえはそこまでではあるのですが、入学時の初年次教育における啓発等、何か対策につなげられないのでしょうか。

学内で危険な目にあったことがあるかという問い（Q18）の関連では、回答の母数こそ少ないものの、「宗教勧誘」との回答割合が昨年度の 18.2%から 50.0%と大きく増えた点が気になるところです（Q18-1）。学生が窓口で報告・相談に来てくれる例も実際に増えており、注意喚起の掲示を増やすなどの対策を採っておりますが、引き続き警戒を強めていく所存です。なお、「マルチ商法や高額機材購入などの悪徳商法」も昨年度からさらに増えており（15.2%→18.8%）、こちらも引き続き注意してまいりたいと存じます。

昨年度、「正課外学習」について、学生がもっと具体的にイメージをしやすいうように、選択肢の見直しをしてみてもよいのでは、と書きましたが、学生センター内での検討の結果、今年度は思い切って自由記述で問うことにしました（Q33・Q34）。結果として、学生諸君が非常にバリエーションに富んだ正課外学習に取り組んでおられることがわかりました。また、「大学に望むサポート」についても有益な回答を得られました。特に「課外教養プログ

ラム」に関して、興味はあるが実態が掴めないので映像などを用いてより深くアピールしてほしい、授業と重なるので2部制にしてほしい、同じ曜日に開催されていることが多いのではないかと、といった指摘がありました。いずれも重要なもので、学生スタッフに伝えて改善策を検討してもらいたいと思います。

なお、Q33の学部・学年別回答数は以下のとおりです。

	法	文	経営	国際文化	人間環境	CD	デ工	GIS	経済	社会	現代福祉	スポ健	情報科学	理工	生命科学
1年	17	26	8	5	15	4	4	4	12	15	1	4	2	9	5
2年	6	9	10	5	7	3	3	0	2	13	1	1	3	4	3
3年	10	10	3	5	5	0	2	0	4	3	3	2	3	3	2
4年	12	13	8	4	5	1	3	1	7	9	1	2	2	5	2
合計	45	58	29	18	32	8	12	5	25	40	6	9	10	21	12

このほか、自由記述欄からは、まず例年いただく声ではありますが、食堂の改善を求める意見が多く見受けられました。各キャンパス共通で見られる指摘ではあるものの、とりわけ市ヶ谷で席数増加・営業時間の延長を求める意見（閉店が早すぎる）が多数寄せられました。またこれも各キャンパス共通で、トイレの改善（きれいにしてほしい等）を望む声があり、特に市ヶ谷で富士見坂校舎や田町校舎の和式トイレは不慣れなので洋式に変えられないかといった要望、また女子トイレの少なさを指摘する意見が複数見られました。これらは、即座に改善できるものではないものの、関係部局に伝えて中長期的に改善を検討してもらいます。

本年4月から行われている無料生理用品の設置について、大変ありがたいが、なくなっていることが圧倒的に多いという指摘は、関係部局に必ず伝えて改善の検討を進めてもらうように致します。

特に市ヶ谷で、給水所・給水器の設置を望む声が複数見られました。この点は、実は大学としても検討を進めてはいたのですが、回答結果を踏まえ検討を加速し、10月下旬に富士見坂校舎2階エレベーターホール、富士見坂校舎地下1階富士見坂ホール、80年館（図書館）2階閲覧室前の3か所に給水機が設置され、稼働するに至ったことをご報告申し上げます。

Hoppii・学習支援システム（WebClass）が使いづらい・昨年度の方がよいので戻してほしい、という切実な声も複数寄せられました。関係部局に必ず伝えさせていただきます。

以上、全学センター長として特に気になった点を挙げさせていただきましたが、冒頭でも述べましたように、ここにこうして書くだけで終わっては駄目で、関係部局に学生の声を届け、改善につながった際にはそのことをきちんと学生に報告すること、学生へのフィードバックのあり方の見直しを、次年度に向け重点的に進めてまいりたいと存じます。

なお、アンケート結果の公表に際し、昨年度までは男女別のデータも公表しておりましたが、DEI推進等の観点から、今年度は公表を取りやめることと致しました。次年度以降に関しては、改めて検討の上、適切に対応してまいります。

2025年12月
学生センター長 武生 昌士